

第3回 放射線医学総合研究所 規制支援審議会 議事要旨

1. 日 時 平成29年3月16日(木) 15:00～16:00
2. 場 所 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
本部棟2階第1会議室(千葉県稲毛区穴川四丁目9番1号)
3. 出席者
 - ・委員:松井委員、遠藤委員、覺正委員、早川委員
 - ・オブザーバー:島田理事、野田所長、明石執行役、岡部管理部長、青木監事、西川監事、小畑主査
 - ・事務局:放医研研究企画室(原田室長、三枝研究推進ユニット長、北川上席研究員、杉浦主査、工藤主査)
4. 配布資料
議事次第
 - 【資料1】 放射線医学総合研究所規制支援審議会の設置について
 - 【資料2】 規制支援審議会委員名簿
 - 【資料3】 国立研究開発法人放射線医学総合研究所規制支援審議会(第2回)議事要旨
 - 【資料4】 平成28年度受託研究等一覧及び平成28年度共同研究一覧
 - 【資料5】 平成28年度該当分野の寄付金受け入れ実績
 - 【資料6】 放医研における規制に関連した研究の透明性・中立性の確保について
5. 議事
 - 1) 放射線医学総合研究所規制支援審議会の設置について
事務局より、審議会の設置根拠について、平成28年度から放医研が量子科学技術研究開発機構の一部となったことから、審議会の設置者を変更し、審議の対象も放医研の業務に限定する形にした旨の説明があった。
 - 2) 第2回規制支援審議会議事要旨確認
平成28年3月に開催された第2回審議会の議事要旨を確認し、承認された。
 - 3) 平成28年度受託研究等一覧及び平成28年度共同研究一覧・平成28年度該当分野の寄付金受け入れ実績について
事務局より、平成28年度の共同研究・受託試験等の一覧表と寄付金受け入れの実績について説明があった。

これらの実績について委員からは特段の疑義はなく、国立研究開発法人も積極的に共同研究や寄付金を受け入れ、産学官連携を推進すべきとの意見があった。

4) 放医研における規制に関連した研究の透明性・中立性の確保について

事務局より、「放医研における規制に関連した研究の透明性・中立性の確保（平成27年3月25日）」について、組織の変更や状況の変化を踏まえた修正案の説明があった。

審議の結果、事務局において、次の方針で修正を行うこととした。

- ・当該文書の位置づけの明確化や、規制関連研究等の透明性・中立性を確保する機能の定常化のため、「検討の背景」「検討の方向性」の表現の見直しや、規程類への内容の落とし込みを検討する。
- ・「放射線影響研究」は「放射線の影響と防護に関する研究」とする。

5) その他

事務局より、今後については所管官庁とも相談し、引き続き規制関連研究等の透明性・中立性の適切な確保の方策について検討する旨説明があった。

以上